

1～4年次前期・選択

2単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、生活環境と健康との関係を理解することを目的とする。健康で豊かな生活を確保するための生活環境について自然科学的視点から指摘でき、健康障害を予防する対策を指導できる能力を養う。

【到達目標】

- 1) 空気や水、騒音、放射線などの物理的環境、住居、廃棄物などの身近な生活環境と、個人の健康との関わりの基礎知識を修得する。
- 2) 生化学的な側面から外部環境が変化した際のヒトの適応を修得する。
- 3) 生活環境の問題点について、健康障害を予防する視点から説明することができる。

【内容・スケジュール】

(担当)

1) 生活環境と健康 (その1: 大気の正常成分)	森岡
2) 生活環境の健康 (その2: 大気の汚染物質)	森岡
3) 人体の組成と栄養素	太田
4) 酵素の構造と機能	太田
5) 代謝経路とその調節 (その1)	太田
6) 代謝経路とその調節 (その2)	太田
7) 遺伝子の構造と機能	太田
8) 生活環境と健康 (その3: 水)	森岡
9) 生活環境と健康 (その4: 水の浄化方法)	森岡
10) 生活環境と健康 (その5: 騒音・振動)	森岡
11) 生活環境と健康 (その6: 放射線)	森岡
12) 生活環境と健康 (その7: 住居)	森岡
13) 生活環境と健康 (その8: 廃棄物)	森岡
14) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その1)	森岡
15) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その2)	森岡

【評価】

試験 (80%)、レポート (10%)、参加態度 (10%)

【教科書】

特になし

【推薦参考図書】

岸玲子、小泉昭夫、他編「NEW予防医学・公衆衛生学改訂第4版」南江堂2018

武田眞太郎、宮下和久著「公衆衛生学四訂版」培風館2015

石黒伊三雄監修「わかりやすい生化学第5版疾病と代謝・栄養の理解のために」

ヌーヴェルヒロカワ2016